とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	1月下旬
クラス名（年齢）	すみれ　組（　3　歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

氷をつくろう

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

寒い日が続き、お寺の小さな池にうっすら氷が張ってあるのを見て、「氷はどうやったら出来るんだろう」という子どもの言葉から氷作りをすることにした。

2、活動スケジュール

気温が低く寒い日に氷作りをすることにする。自分のマークの付いたカップに好きな量の水を入れる。

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

透明なカップ29個　個人マーク　カップを入れるかご

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

氷の作り方をクラスで考える。自分のマークの付いたカップに好きな量の水をいれて、戸外に置く。出来上がった氷を見たり触って氷の感触を楽しむ。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
氷作りの話をすると「冷蔵庫に入れたら氷できるよ」「でもみんなの分のカップをは入らないよね」「じゃあどうする？」「外は寒いから外に置いておいたら」など色々な意見が出た。 「じゃあ寒そうな場所に置こう」ということで、自分のカップを持って外に行き好きな量の水を入れた。水を入れたとたんカップの中に指を入れて「氷できたかな」「まだだった」とがっかりする子どももいた。数時間後「もう氷で来たかな」「もうお日様が出てきたからまだじゃない？」「じゃあ寒い時に見に行こう」ということになり、次の日の朝氷を見に行くと氷のできている子とできていない子がいた。「なんでだろうね」と子ども達と考えて違う場所にカップを移動し、引き続き氷作りをする。氷が出来ている子の周りに集まり「ボツボツがある」「冷たい！」氷の中の模様や冷たい感触に喜んでいた.	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

子どもたちは氷を作ることをとても楽しみにしていて、毎朝見に行く時にはワクワクしている気持ちが伝わってきた。氷の中の模様や下はまだ凍っていないなど気がついたことを友だちに教えたり、氷ができた時には氷を持ってみて冷たさを感じることができた。氷の作り方など難しいことはまだ理解できない子どももいたが、子ども達が楽しみにできる活動になってよかった。